



連続講座 in 都城・manekineko

この講座は、紙芝居の「重要なテーマ」を「少人数」で「3回連続」して深めることが目的です。日本独自の文化財である紙芝居を深め演じながら学び合い、心の輪を広げましょう。

- 第1回目 2018年12月16日(日) 10:00~16:00
「総論・演じ方・演じてみよう」
講師:酒井 京子氏(紙芝居文化の会代表、童心社会長)
- 第2回目 2019年1月20日(日) 10:00~16:00
「歴史・作品論と選び方・演じてみよう」
講師:日下部 茂子氏(紙芝居文化の会広報統括委員、編集者・大学講師)
- 第3回目 2019年2月16日(土) 10:00~16:00
「絵本と紙芝居のちがいがい・作品にこめられたもの・演じてみよう」
講師:松井 エイコ氏(紙芝居文化の会国内統括委員、壁画家・紙芝居作家)

<会場> 第1回目 早水体育文化センター(2階第会議室) 第2回目 清流館(吉尾町) 第3回目 清流館(吉尾町)
 <定員> 40名
 <会費> 1回当 300円(各回共に、『演じてみよう』で紙芝居上演を希望する方は、1回当1,000円追加になります。)
 <申込締切> 第1回目 2018年12月9日(日) 第2回目 2019年1月13日(日) 第3回目 2019年2月9日(土)



講師プロフィール

酒井 京子氏

(紙芝居文化の会代表・童心社会長)

童心社の編集者として、紙芝居と絵本の編集に携わる。『おいしいのぼうけん』、『14ひきのシリーズ』等のロングセラー絵本を編集者として生み出す。1984年童心社編集長。1998年童心社社長に就任。現在は、童心社会長。「出前紙芝居大学」を開催すると共に、オランダ・フランス・ドイツ・スイス・中国で紙芝居の講座を行うなど、日本のみならず世界への紙芝居普及に力を注ぐと共に紙芝居の理論化にも努力してきた。共著に「紙芝居を演じる」がある。

日下部 茂子氏

(紙芝居文化の会広報統括委員・編集者・大学講師)

『おおきく おおきく おおきくなあれ』等数多くの紙芝居と絵本を編集。元童心社紙芝居プロモーション室長。現在は、東京成徳大学非常勤講師。紙芝居研究会ほか様々な紙芝居活動にも携わっている。日本各地をはじめベトナムやフランス、上海などの紙芝居講座で講師を務める。子どもの文化研究所・紙芝居研究会代表委員。全国紙芝居まつり本部運営委員。論文「紙芝居運動を切り拓いた人々―稲庭桂子」、共著「堀尾青史の世界から紙芝居の明日へ」他。

松井 エイコ氏

(紙芝居文化の会国内統括委員・壁画家・紙芝居作家)


武蔵野美術大学油絵科卒業後、日本有数の壁画家として、全国各地に「人間」をテーマとする壁画、スタンドグラス、モニュメントなどを150作以上創作。紙芝居の創作と普及にも力を注ぐ。紙芝居作品に『かずとかたちのファンタジー(全5巻)』、平和紙芝居『二度と』がある。2006年『二度と』は、「ドイツ・ミュンヘン国際青少年図書館」が企画する、平和を伝えるための国際図書館展に選ばれ、世界をめぐる。フランス、ベトナム、ドイツ、日本各地にて講演。

- 申込み方法** : 1. 申込書に記入の上、郵送してください。又、紙芝居まねきねこの会事務局に電話申込も受付けています。
2. 会費は、連続講座開催日に受付でお支払いください。

- 問い合わせ先** : 紙芝居まねきねこの会事務局 〒885-0006 都城市吉尾町2060-1
代表 久保田哲寛 (Tel.090-8916-3547) 副代表 折津実 (Tel.090-8419-2572)

- 主催** : 紙芝居まねきねこの会(代表 久保田哲寛)

- 後援** : 紙芝居文化の会(代表 酒井京子)

 National Institute for Youth Education
 全国青少年教育振興機構
 「子どもゆめ基金助成活動」

 体験の風をおこそう

連続講座 in 都城 申込書	住所 〒 -	
	氏名	TEL